

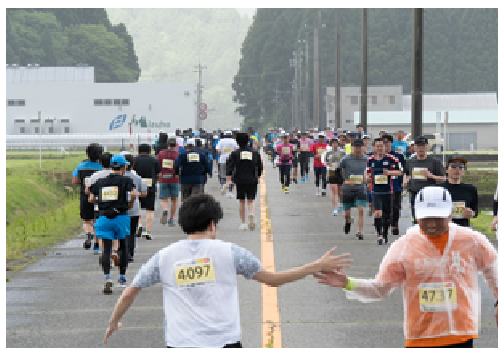
第1回大野市スポーツ推進審議会

日時 令和8年6月24日（水）19時
会場 大野市エキサイト広場 会議室

1. 令和7年度 of 取組状況と成果
2. 令和8年度 of 課題と施策
3. 大野市スポーツ推進計画とは
4. 大野市スポーツ推進計画の見直しの考え方
(背景・方向性)
5. 今後のスケジュール

①令和7年度の取り組み

基本目標	主な施策	実績	内容
1.スポーツ参画人口の拡大	第61回越前大野名水マラソン	参加者2,988人	・沿道の応援やボランティアを始め、子供から高齢者まで、多くの市民が多様な立場で関わり、スポーツを体感 ・7割が市外からの参加、交流人口の拡大
2.スポーツを通じた健康の増進	ウォーキングの推進	コース利用者 5,831人	・エキサイト広場ランニングコースをR7.7から無料開放 ・ヘルスウォーキングプログラムと連携(ポイント付与)
	スポーツ教室の実施	27教室 96回 2,432人	従来のスポーツ教室に加え、新たにACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)やeスポーツの体験会
3.レベルの高い競技者の育成	質の高い指導者の育成	5人 1団体	・指導資格の新規取得に要する費用を支援 ・トップアスリート等スポーツ教室開催事業補助
	有望なアスリートの育成	補助 56件 激励者 43人	全国大会などへ出場に要する交通費や宿泊費の支援
4.こどものスポーツ活動の充実	夏休みのスポーツ体験	2講座 169人 県内 950名	・夏休み期間中にさまざまなスポーツに親しむ機会の創出 ・第60回福井県スポーツ少年大会



ハーフ部門のランナー



全国大会出場者表敬訪問



アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP)



eスポーツ体験
(福祉ふれあいまつり)

指標	内容	令和7年度 実績	令和13年度 目標
市民1人当たりの体育施設利用回数	市民1人当たりの体育施設(スポーツ推進課所管)の利用回数	9.18回	9.00回
週1回以上スポーツを実施している割合	週1回以上スポーツ(運動)をしている市民(20歳以上)の割合	—	50.0%
スポーツ指導者公認資格の新規取得者数	スポーツ指導者公認資格の新規取得者数(R4～R13の累計)	累計38人 (5人/年)	累計80人
スポーツイベントの開催や誘致	スポーツイベントの開催・誘致数(R4～R13の累計)	累計40回 (10回/年)	累計50回
スポーツ教室や各種スポーツ大会の実施	市民対象のスポーツ教室や各種スポーツ大会の実施	延べ269回	延べ200回 (年間)

課題	施策
①スポーツ参画人口の拡大	・マラソン大会やスポーツフェスタを開催し、ボランティアをはじめ多様なかかわり方により、スポーツの楽しさなどを体感できる機会を創出 ・スポーツに関する情報発信を強化
②スポーツを通じた健康づくりの推進	・多くの人が取り組みやすいウォーキングを推進 ・ライフステージや興味に応じたスポーツ教室の実施 ・ニュースポーツやeスポーツなど、誰でも気軽に参加できる新しいスポーツの普及促進
③優秀な指導者の育成	・各種スポーツ指導者養成事業の情報発信 ・資格取得費用の補助
④レベルの高い競技者の育成	・全国大会出場選手への支援 ・トップアスリートを招いたスポーツ教室の開催
⑤社会体育の活動場所の確保	・エキサイト広場の休館日見直しによる有効活用 ・団体や個人の活動場所の確保支援
⑥安心安全性のための施設管理	・運用ルールや利用者マナーの整備 ・計画的な施設修繕の実施 ・スポーツ器具の更新

第六次大野市総合計画

大野市が目指す将来像

人がつながり地域がつながる住み続けたい結のまち



将来像 実現のための基本目標

健幸で自分らしく暮らせるまち



大野市スポーツ推進計画

目指す姿

市民が、それぞれのライフステージでスポーツを楽しみ、健康の増進と競技力の向上が図られ、豊かで充実した生活を送るまち



目指す姿 実現のための4つの基本目標

基本目標 1 スポーツ参画人口の拡大を推進

基本目標 2 スポーツを通じた健康の増進

基本目標 3 レベルの高い競技者の育成を推進

基本目標 4 子どものスポーツ活動の充実

★計画の期間 令和4年度から令和13年度まで（5年後をめぐり内容を見直す）
令和8年度中間見直し

国：スポーツ基本法
「する、みる、ささえる、**つながる**」

▶「**つながる**」重視

市：第六次大野市総合計画後期基本計画
「する、みる、ささえる、**しる**」

▶「**しる**」を位置づけ

【異なる理由】

- ・スポーツに関心のない層に届いていない
- ・スポーツの理解・認知が弱い



まず「知る」、「知ってもらう」
「**しる**」の強化、関心のきっかけづくり

「**しる**」→「関わる」→「**つながる**」

★大野市スポーツ推進計画の見直し（案）

現行「する、みる、ささえる」

▶「**しる**」、「**つながる**」を追加

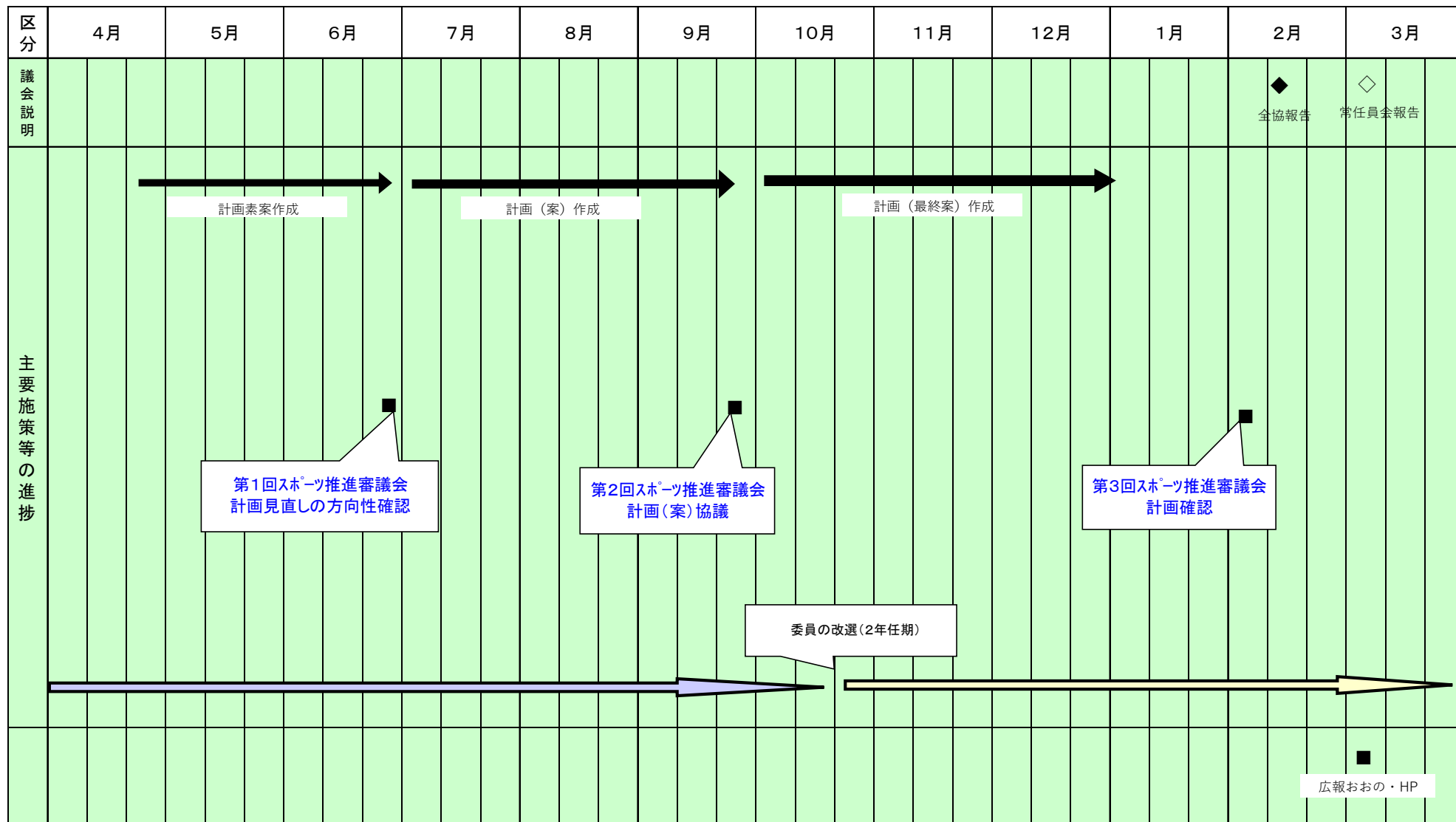
まず、スポーツの存在や魅力を知り、関心を持つことから始まる

- ・スポーツの価値や魅力を知る
- ・情報発信・理解促進
- ・関心を持つきっかけづくり など

👉「**しる**」が入口となり、参加や関係づくりに**つながる、つなげる**（最終的な姿）

⑤計画策定スケジュール

8



※「健康おおの21」の改定時期と重なることから、両計画の内容や方向性の整合を図る必要がある